

| | |
|-----|--------------|
| 学校名 | 三郷市立桜小学校 |
| 所在地 | 三郷市彦成4-5-16 |
| 電話 | 048-957-5033 |

1 本校の概要

本校は昭和48年に開校し、今年度で47年目を迎えた。児童数約250名、通常学級9学級、特別支援学級2学級、合計11学級の小規模学校である。「読書で心を磨く桜っ子」の育成に向けて読書環境の整備、学校図書館の、学校、地域、読書ボランティアとの連携を大切にしながら読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・児童の読書活動の推進
- ・読書環境の整備充実
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 学校行事「全校群読集会」

毎年10月の学校公開時に、学年ごとに群読を行い、保護者とともに言葉の世界を楽しむ。教科書の内容だけでなく、児童の発達段階に応じた詩などを三郷市編集の「言葉の力」や三郷市の民話などを取り入れている。



イ 桜読書賞

各学年の読書目標を設定し、それが達成できた児童は校長先生から表彰を受ける。

ウ 図書委員の活動

毎日業間休み、昼休みに本の貸出、図書館の本の整理を行っている。また学期に一度、特別支援学級、1、2年生に読み聞かせを行っている。さらに、児童集会では、低中高のおすすめの本を紹介するなど、児童目線で読書活動の推進を行っている。



エ よりみち文庫

廊下や昇降口に、よりみち文庫を開設している。地域ボランティアと協力し、図書環境を整備することで、様々な本に興味をもてるように工夫している。



オ 桜小ふれあい文庫

今年度より、読書活動の活性化として、職員室そばに「ふれあい文庫」を設置した。職員のお薦めの本や、季節にあった本、校長による傾聴作文で出てきた話など、児童の関心を高めている。気軽に本を手取るだけでなく、児童も保護者も貸出できるシステムを作り、じっくり読めるようになっている。



カ 小中連携

本校の特別支援学級の児童に対し、隣接している彦成中学校特別支援学級の生徒が読み聞かせを行っている。読み聞かせを通し、互いを理解することで、交流が深まり、円滑な小中連携につながっている。



キ 図書ボランティア

本校には、2つの図書ボランティア団体が学校読書活動をサポートしている。始業前の読み聞かせ（ふれあいタイム）、昼休みのお話会、低学年対象の紙芝居など、年間を通じて、児童に本の楽しさを伝えている。さらに、廊下や昇降口などの図書の掲示物など、読書環境の整備充実を支えている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

様々な読書活動を通して、児童の関心意欲も高まってきた。蔵書数も増え、読書や学習で使いたい本が使える環境が整ってきている。

(2) 課題

今後は、近隣の図書館とも連携し、地域の方への情報発信基地としての役割を果たしたい。また、授業で図書館を活用できるように、年間計画を見直していきたい。よりいっそうの読書環境や読書活動の工夫を図り、本校の読書力向上を推進していきたい。